

2015年9月日本建築学会東北支部役員会議事録（案）

日時：平成27年9月16日（水）13：30～15：00

会場：日本建築学会東北支部

出席者：源栄・有川・パリーク・高橋・手島・川村・藤田・志賀・濱口・伊藤/瀧（事務局）

Skype出席者：苅谷・宮腰

欠席：永井・小林・齋藤・福屋

1. 前回議事録の確認

- ・高橋常議員が7月支部役員会議事録【資料1】を読み上げ、内容の確認を行った。
- ・報告事項6) 日本建築学会設計競技支部審査報告について、資格のない場合（会費未納など）の申請を認めない旨を合意内容として追記することで、了承された。

2. 報告事項

1) 9月理事会報告

- ・源栄支部長が【資料2】に基づいて、男女共同参画推進に関連して「(仮称) 建築学会女子会」の創設と活動単位が支部単位になるので支部として体制を整える必要が生じること、2016年の創立130周年記念事業に関連して支部に対しても（本部と統一の）企画実施依頼があること、大賞選考委員会について故人の申請に関する規定追加などについて説明があった。

2) 7月会計報告

- ・志賀常議員が【資料3】に基づいて報告を行った。
- ・7月支出明細について2014年度と記載されている箇所を2015年度に修正するよう指示があった。
- ・支出は主に経常費用出費とみちのくの風の残務分、収入は主に研究集会事業費である。

3) 「作品選集2016」支部審査報告

- ・事務局が【資料4】に基づいて報告を行った。
- ・東北支部からは5作品が「作品選集2016」に掲載されることになった。
- ・次年度から応募費用が10,000円になることが報告された。

4) 第17期代議員および次期支部役員選挙と選挙管理委員会の設置について

- ・事務局が【資料5】に基づいて報告を行った。
- ・代議員は（増員され）選挙数+補欠で4名、常議員は7名を選出する必要があること、11月30日までに支部事務局に推薦届書式を提出すること周知された。これにあたり、選挙管理委員を選定する必要がある。

5) 第36回東北建築賞の応募報告と第26回東北建築作品発表会について

- ・事務局が【資料6】に基づいて報告を行った。
- ・東北建築賞の結果は来年3月中旬にWebサイトおよび本人に通知されること、支部研究会で口頭発表されていない応募については受け付けないことにした旨の報告があった。

6) 11/2 災害委員会支部市民企画シンポジウムについて

- ・源栄支部長が【資料7】に基づいて報告を行った。
- ・石井慶造先生の称号が名誉教授であること、「仙台市における防災・減災の取り組みについて」の担当が志賀常議員ではなく仙台市危機管理室減災推進課のどなたかになる（決まり次第報告される）旨の報告があった。
- ・支部企画なので運営は支部で担当してほしいという依頼が災害調査連絡会からあった。ただし、支部事務局の人数に限りがあるので、照明係、マイク・撮影係として2名が必要となる。そこで、学生にお手伝い頂くことでアルバイト代の支出を予定していただくよう災害調査連絡会に依頼することになった。
- ・ポスター最終版完成は9月下旬、周知方法の検討および申込書へのメールアドレスの追記などの対応を鈴木先生@東北大災害研と相談することになった。

7) 2016年度からの支所交付金の取り扱いについて

- ・事務局が【資料8】に基づいて報告を行った。
- ・従来、支所への渡し切りであった支所交付金について、立替払い精算、または、概算払い精算で使い切らなかった場合は2月に返金すること、謝金申請書式について報告があった。

8) 設計競技支部入選について

- ・事務局から標記の件について報告があった。
- ・会費未納者については、応募作品持参時に入金の有無を検索して支払ってもらうようにするよう検討することとなった。

9) その他

- ・特になし

3. 審議事項

1) みちのくの風 2016 宮城について

- ・有川常議員・高橋常議員から【資料 9】に基づいて説明があった。
- ・東北大学 人間・環境系教育研究棟を使用することについて検討し、会場使用料が見積額で 22 万円程度となっていることについて説明があった。例年、会場使用料に関しては最大 15 万円ほどを見込んでいたが、仙台開催のため運搬費や宿泊費が安くなること、会場使用時間を精査して使用料を削減する方向で検討すれば大幅に足がでることにはならぬそうなので、東北大で開催する方向で進めたい旨の連絡があった。
- ・他の学会の場合どうしているかについて東北大側にて聞いてみる、

2) 2016 年度支部総会の日程について

- ・事務局から【資料 10】に基づいて説明があり、次回役員会前にメール審議で次年度支部総会の日程を決めることになった。

3) 支部のホームページについて

- ・事務局から【資料 11】に基づいて説明があった。
- ・図書情報担当の宮腰常議員、藤田常議員に、CMS 化するか、HTML のままでリニューアルするか、Facebook などの既存サービスを用いるか、他支部の動向も含め、更新作業負荷の軽減と予算を考慮しつつ、次回役員会までにリニューアル案を作成していただくことになった。

4) 支部建築賞内規改訂に繋がる事象について

- ・事務局から【資料 12】に基づいて説明があった。
- ・小林常議員がとりまとめた研究奨励賞・作品賞に関する内規改訂の方針について議論された。震災復興などの特殊な事情もあるので、何を一つの「作品」として扱うことが妥当かについては柔軟に検討できるような条文にすることを検討する必要があるとの意見があった。
- ・小林常議員の話として、「現在の小規模建築部門、一般建築部門の区切りに加えて、震災復興部門など、現状に合わせた区切りも再考する必要があるのではないか」との話を受け、手島常議員より、「被災地の建築学会支部として、震災復興の取り組みをどう評価し、価値づけるかは重要な課題であり、東北支部では是非取り組むべき」だとの意見があった。

5) その他

- ・特になし

今後の予定

- ・10月3日(土)10時開会 第26回東北建築作品発表会 せんだいメディアテーク7階スタジオシアター
- ・10月支部役員会 休会
- ・11・12月支部役員会 後日調整